

## 口腔保健の現状と課題

松本歯科大学口腔衛生学講座

牧 茂

2000（平成12）年から第三次国民健康づくり運動（「健康日本21」）が始まった。生活習慣病対策の一環として「歯の健康」が位置付けられ、幼児期から老年期までの具体的な13項目の目標値を定め、生涯にわたる歯科保健対策が重要であることが強調されている。目標値の代表的な例として、80歳において20歯以上の自分の歯を有する者割合の増加が上げられ、2010（平成22）年までに20%以上が掲げられた。中間評価の実績値では25.0%と目標を達成している。中間評価では13項目のうち3項目で目標値に達しており、「健康日本21」の中で取り上げられている栄養・食生活をはじめとする9領域で歯科保健は達成が最も高率であった。

このような実績をあげ、歯科保健対策を確固なものとして広く国民にあまねくその恩恵に浴するようになりたいという歯科医師会を中心とする歯科保健関係者の熱意が、住民および議会関係者を動かし、2008（平成20）年の新潟県にはじまり2012（平成24）年3月末現在26道県において歯科保健条例が制定されている。また、国においても2011（平成23）年8月2日、歯科口腔保健の推進に関する法律（歯科口腔保健法）が第177回国会で成立、8月10日に公布された。

現在国においては次期国民健康づくり運動「健康日本21（第二次）」を策定中であり、歯科口腔保健法の基本理念の中のひとつである「保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育その他の関連施策の有機的な連携を図りつつ、その関係者の協力を得て、総合的に歯科口腔保健を推進する」とあり、両者の調和を図り効果的な推進方策について考えてみたい。

### 牧 茂（まき しげる） 略歴

- 1976（昭和51）年3月 新潟大学歯学部卒業
- 1980（昭和55）年3月 新潟大学大学院歯学研究科修了
- 4月 新潟大学歯学部助手
- 1984（昭和59）年9月 新潟県技術吏員（衛生部公衆衛生課）
- 1986（昭和61）年4月 長野県技術吏員（衛生部保健予防課）
- 2004（平成16）年7月 松本歯科大学総合歯科医学研究所健康増進口腔科学部門 教授
- 2009（平成21）年4月 松本歯科大学歯学部口腔衛生学講座 教授（現在に至る）
- 2011（平成23）年4月 松本歯科大学大学院歯学独立研究科健康増進口腔科学講座主任教授（現在に至る）